

第28回日ロ極東学術シンポジウムのご案内

秋の気配が感じられる季節となりました。皆様お元気でご活躍のことと存じます。さて、1984年以來、ロシア科学アカデミー極東支部を中心とする研究者や実務家との間で続けている日ロ極東学術シンポジウムは、今年で28回目を迎えます。

近年、回復基調にあるロシア経済を反映して、日ロ間の経済関係は再び活性化しつつあります。その一方、北東アジアの諸地域での政治情勢は、複雑さをましています。

このシンポジウムでは、このように変化しつつある地域に身をおきつつ、日ロ関係を含めて、東北アジアの政治・経済・社会に関わる諸問題をグローバルな視点から検討したいと考えています。

今回のシンポジウムには、ウラジオストクに本部をおくロシア科学アカデミー極東支部の歴史・考古学・民族学研究所、太平洋地理学研究所、ハバロフスクの経済研究所の主要メンバーを迎えます。

また、本シンポジウムは、前回と同じく、日ロ極東学術交流会と京都大学経済研究所との共催となります。

これまでのシンポジウムと同様に、率直な意見交換を行いたいと考えています。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

2010年10月

日ロ極東学術交流会

京都大学経済研究所

シンポジウム参加費（資料代を含む）：3000円 懇親会費：5000円

[連絡先] 日ロ極東学術交流会事務局

632-8510 天理市柚之内 1050 天理大学国際文化学部 五十嵐徳子研究室気付

電話：0743-63-7458

e-mail:n-igaras@sta.tenri-u.ac.jp または fujimoto@keiho-u.ac.jp

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~kumo/nichiroindex.htm>

出席のご返事はメールまたは葉書で、懇親会出席の有無もご記入の上、11月20日までお願いします。

第28回ロシア極東学術シンポジウム

プログラム

日時：2012年12月1日（土）～2日（日）

場所：京都大学経済研究所（12月1日）・京都大学百周年時計記念館（12月2日）

京都市バス：東山二条下車、京都大学本部構内

（当日の連絡：090-3928-1540）

時間：10:00～17:00

報 告

12月1日（土）

1. レンジン、オレグ・マルコヴィチ（経済研究所副所長）
「ロシア金融市場—金融危機前の期待—」
2. ゴリューノフ、アレクサンドル・パヴロヴィチ（経済研究所副所長）
「東北アジアにおける金融協同組合の展望」
3. モトリチ、エカテリーナ・レオニードヴナ（経済研究所部長）
「ロシア極東地域の人口再生産におけるマイグレーション」
4. アントーノヴァ、ナターリア・エヴゲーニエヴナ（経済研究所部長）
「極東地域の木材コンプレックスにおける投資の誘致—意図と現実」
5. スクリプニク、エカテリーナ・オレゴヴナ（経済研究所研究員）
「アジア諸国に対する極東住民の嗜好の変化—ツーリズム、労働マイグレーション、定住」

各報告後討論

懇 親 会

18:00～20:00

12月2日(日)

1. バクラーノフ、ピョートル・ヤコヴレヴィチ (太平洋地理学研究所長・アカデミー会員)
「東北アジアの地域自然利用における超境界現象」
2. ゲラシメンコ、アレクサンドル・イヴァーノヴィチ (歴史・考古学・民族学研究所、情報技術部長)
「ロシアの情報空間における日本」
3. クラユーチキナ、タチヤーナ・ヴラヂーミロヴナ (歴史・考古学・民族学研究所、民族学部門主任研究員)
「諸民族の家族観 (ロシアと日本の民話を材料として)」
4. プストヴォイト、エヴゲーニー (歴史・考古学・民族学研究所、日本外交研究センター国際関係と安全保障の諸問題部門研究員)
「琉球諸島、琉球国とその住民に関するロシアにおける最初の情報 (18世紀初頭～19世紀中葉)」
5. サフチェンコ、アナトーリ (歴史・考古学・民族学研究所、社会政治研究部門研究員)
「2000年代極東地域におけるモスクワの地域政策—戦略的な挑戦、あるいは状況的な挑戦に対する対応？」
6. アフォーニン、ボリス・ミハイロヴィチ (歴史・考古学・民族学研究所)
「東北アジアにおける国際関係の諸問題—ロシアからの視点」

各報告後討論

すべての報告・討論は日本語とロシア語に通訳されます。

なお、報告の順序が入れ替わる場合があります。